

別紙

I 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した費用	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	平成30年度農道上小南川線 舗装工事	大川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,827,600

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	平成30年度農道上小南川線舗装工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大川村
交付金事業実施場所		大川村南野山
交付金事業の概要	<p>農道上小南川線は、木材の搬出や農産物の出荷用道路として重要な役割を持つ産業道であり、かつ南野山集落と隣接する上小南川集落とを繋ぐ生活道です。さらに、災害時においては林道長沢川口線の代替道としての役割も担っている路線です。</p> <p>しかしながら、冬期の凍害等により舗装面の傷みが顕著で通行に支障をきたしており、地元からも路面の補修が要望されていることから、本交付金を充当して舗装工事を実施し、地域住民の安全・安心な交通網の確保と農林業の振興を図りたいと考えています。</p> <p>アスファルト舗装（延長：92.8m、幅員：2.4～3.5m、面積：260.1m<sup>2</sup>、舗装厚：4cm）</p>	
交付金事業に関する都道府県 又は市町村の主要政策・施策と その目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策 大川村振興計画 後期基本計画（平成30年度～平成34年度） 基本目標1 働きよい村づくり 1 産業基盤の強化 1) 林業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な木材等の搬出に向けた農道整備を行い、農林業従事者の所得向上に資する。</li> </ul> <p>なお、当該道路は南野山集落（10世帯15人）と隣接する上小南川集落（8世帯14人）とを繋ぐ生活道であり、さらに、災害時には林道長沢川口線の補完、代替道としての役割も担っている。</p> <p>目標：舗装区間での一部修繕作業に伴う通行制限回数（10回/年）を0回にする。</p>	
事業開始年度	平成30年度	事業終了年度 平成30年度

事業期間の設定理由							
交付金事業の成果 目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	平成30年度	
	舗装区間での一部修繕作業に伴う通行制限回数（10回/年）を0回にする。	舗装区間での一部修繕作業に伴う通行制限回数	成果実績	回		1	
			目標値	回		0	
			達成度	%		90	
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、当初計画どおり92.8mを整備した結果、これまで冬期の凍害等による道路の損傷等で年10回の通行制限を実施していた舗装区間において、通行制限回数を年1回に減少する事ができました。舗装区間においては地元住民の安全性が向上するとともに農林業の振興に寄与しています。次年度に向けた取り組みとしては、まだまだ多くの改修必要区間が残されており、当該舗装区間は災害時における林道長沢川口線の代替道としての役割も担っていることから、全面舗装に向けて継続した事業実施を図っていきます。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動 指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	舗装延長	活動実績	m	360.0	1960.0	92.8	
		活動見込	m	360.0	1960.0	92.8	
		達成度	m	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
	総事業費	5,736,960	5,622,480	4,827,600			
	交付金充当額	4,598,000	4,438,000	4,400,000			
	うち文部科学省分	0	0	0			
	うち経済産業省分	4,598,000	4,438,000	4,400,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
舗装工事		指名競争入札		有限会社山中建設（大川村）		4,827,600円	
交付金事業の担当課室		大川村事業課					
交付金事業の評価課室		大川村事業課					